TOPsolid シリーズ導入事例



データの一気通貫でものづくりが変わった

株式会社東海ヒット

曲線を多用したやさしいデザインを サポートする TOPsolid シリーズ

顕微鏡周辺機器を設計・開発・製造・販売する株式会社東海ヒット。研究用途で使う顕微鏡向けに顕微鏡用培養装置や顕微鏡ステージ自動温度制御システムを提供しており、世界80カ国以上の大学や研究所で利用されている。

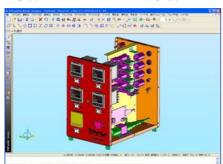
同社の製品は、早くから曲線を多用したやさしいデザインを採用してきた。曲線を多用するデザインは3次元 CAD の得意とするところで、代表取締役 土屋氏は「若手が多く入社するようになってきたので、教育の意味から一刻も早く3次元 CAD を導入したかった。」と言う。そんな同社がチョイスしたのが、TOPsolid シリーズだった。

コダマコーポレーションの対応に 導入後のサポートの安心感を得る

TOPsolid シリーズ導入以前、同社では 2次元 CAD を使用していた。しかし、干 渉や嵌合、配線の取り回しのチェックに限 界があり、不満が絶えなかった。また、特 注品については完成イメージを顧客の研 究者に提出するときは、手書きの外観図を 作成していた。

こうした不都合に悩まされていた同社は、ミッドレンジに的を絞り、3次元 CADの導入の検討を始める。導入に当たっては、社内で設計から製造まで行うことからCADから CAMまで一気通貫でデータを受け渡せることを重視。この条件にマッチしたのが、TOPsolidシリーズだけだった。

しかし、TOPsolid シリーズの導入の決め手になったのは、コダマコーポレーションの対応にあった。導入を担当した開発部設計課課長 佐野氏は「コダマコーポレーションの試作工場を訪問し、TOPsolid での設計から TOPcam による切削加工への



TOPsolid で設計したコントロールユニット

移行を実際に確かめる機会がありましたが、このとき、代理店よりメーカーに近いコダマコーポレーションの姿勢が感じられました。導入後のサポートなどで安心感が得られたのは大きかったです。」と振り返る。

営業ツールへの活用で期待以上の成果 経営全般に導入効果を波及させる

TOPsolid シリーズを導入した結果、同社では干渉や嵌合の不具合が設計時点で解消され、設計ミスが導入前の半分以下に減少。3次元データを活用するものづくりを可能にしたことで、取引先からの受注増にもつなげた。佐野氏は「トップダウン設計とボトムアップ設計の両方に対応しているので、使い勝手に優れています。」とTOPsolid を評価する。また、製造部製造課課長望月氏は「設計変更が起きたとき、TOPsolid で CAD データを修正すればTOPcam のツールパスにも反映されるところが便利です。」と言う。

さらに同社では、TOPsolid の3次元設計データを完成イメージとして商談時に提示するほか、リーフレットや取扱説明書、パンフレット、特注品の仕様書、など印刷物にも利用している。印刷物にはTOPimageで陰影をつけるなどして写実的なCG画像に変換したものを、写真の代わりに使用。土屋氏は、「コスト低減と商品イメージの向上で、営業ツールへの活用には期待以上の成果がありました。」と強調する。

現在、同社は設計データの管理やパーツリストを充実させる取り組みを進めているところ。今後は営業マンにも TOPsolidの操作を習得してもらい、客先で打ち合わせをしながらモデリングする、といった活用も模索している。TOPsolid シリーズは組織の垣根を超え、同社の経営を支えるツールとして確固たる地位を確立している。



TOPsolid で設計した顕微鏡用培養装置

株式会社東海ヒット

http://www.tokaihit.com

1994(平成6)年に創業した株式会社東海ヒット。世界的にも数少ない顕微鏡周辺機器の専業メーカーで、研究用顕微鏡の大手メーカー4社をはじめ、多くの大学や研究機関とも取引している。各社の顕微鏡ステージの形状に合わせた製品を設計・開発・製造・販売もせた製品を設計・開発・製造・販売も大店し、国内でのシェアは70%以上。バイオテクノロジーやライフサイエンス分野の研究、産業を幅片。



写真左から 開発部設計課 課長 佐野 圭氏 代表取締役 土屋 秀治氏 製造部製造課 課長 望月 清正氏



株式会社東海ヒット本社外観

お問い合わせ

コダマコーポレーション株式会社 http://www.kodamacorp.co.jp

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 3-1 センター南 SKY ビル 4F

■営業部

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail sales@kodamacorp.co.jp

会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 記載内容は2010年3月当時のものです。



